

保護者負担軽減計画について

<京都府提出資料>

学校名	京都先端科学大学附属高等学校
所在地	京都市右京区花園寺ノ中町8番地
電話番号	(075) 461-5105

<p>(1) 建学の精神</p>	<p>『世界の舞台で堂々と自分の意志で行動できる人間の育成』</p>																																							
<p>(2) 本校の特色及び将来展望</p>	<p>本校では、独自のグローバル教育・先進的な英語教育を実践しており、高校在学中に生徒全員が海外研修旅行・留学を経験します。また、STEAM教育による探求型学習を推進しており、本校生は毎年全国の探究学習課題発表会にて数々の優秀な成績をあげています。 ものづくり講座の開講や、KUAS Art Competitionに代表される全校を挙げてのアート教育など、生徒一人ひとりの知的好奇心や感性をくすぐる(=生徒が喜ぶ)多種多様な取り組みを実践しています。 このように、かけがえのない経験を生徒に常に提供し続けることにより、生徒の才能を開花させ、実りある人生を送る土台を築き、ひいては「世界のどの舞台に立っても堂々と自分の意志で行動できる人間の育成」を目指しています。 令和3年4月より、本校は学校法人永守学園と法人合併し、新たな中高大一貫教育を始動しました。「WWL(ワールド・ワイド・ラーニング)コンソーシアム構築支援事業」カリキュラム開発拠点校として文科省より指定を受けておりますが、今後は、WWLが目指す高度な学びを、大学との学際的な連携を通じて、より一層幅広く展開いたします。それにより、グローバルレベルで活躍できる実践力を兼ね備えた人材をここ京都の地で育てます。</p>																																							
<p>(3) ・令和7年度納付金</p> <p>※学科やコースによって納付金に差異がある場合は最低額を計上。</p> <p>・今回改定 ありなし</p> <p>・前回改定 令和4年度</p>	<table border="1" data-bbox="772 1077 1871 1492"> <tr> <td rowspan="2">【1年生】</td> <td>入学金</td> <td>施設拡充費(入学時)</td> <td>授業料</td> <td>施設拡充費等*(経常的)</td> <td>計(入学時除く)</td> <td>審査料</td> </tr> <tr> <td>70,000</td> <td>30,000</td> <td>520,000</td> <td>280,000</td> <td>800,000</td> <td>20,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">【2年生】</td> <td>授業料</td> <td>施設拡充費等*(経常的)</td> <td>計</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>520,000</td> <td>270,000</td> <td>790,000</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">【3年生】</td> <td>授業料</td> <td>施設拡充費等*(経常的)</td> <td>計</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>520,000</td> <td>270,000</td> <td>790,000</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table> <p>*施設拡充費等には、施設拡充費、校費、実験実習費、冷暖房費等の入学金、授業料及び検定料以外の納付金で、学則に定めのあるものすべてを含む。ただし、PTA、生徒会等、学校法人とは別団体に属する経費、任意寄附金及び給食費は除外。</p>	【1年生】	入学金	施設拡充費(入学時)	授業料	施設拡充費等*(経常的)	計(入学時除く)	審査料	70,000	30,000	520,000	280,000	800,000	20,000	【2年生】	授業料	施設拡充費等*(経常的)	計				520,000	270,000	790,000				【3年生】	授業料	施設拡充費等*(経常的)	計				520,000	270,000	790,000			
【1年生】	入学金		施設拡充費(入学時)	授業料	施設拡充費等*(経常的)	計(入学時除く)	審査料																																	
	70,000	30,000	520,000	280,000	800,000	20,000																																		
【2年生】	授業料	施設拡充費等*(経常的)	計																																					
	520,000	270,000	790,000																																					
【3年生】	授業料	施設拡充費等*(経常的)	計																																					
	520,000	270,000	790,000																																					
<p>・今後の納付金に対する考え方</p>	<p>就学人口の減少による生徒等納付金の減少は、財政の収支均衡を図る上で非常に厳しい課題です。一方で、本校が選ばれる私学であり続けるためには、教育内容・施設環境の改善は常に行わねばなりません。 そこで、本校としては、学費以外の収入において大部分を占める補助金収入に関連して、特に国・府の補助金の対象に値する「時流に沿った教育」を意識的に実践いたします。また、教職員・生徒保護者・関係業者・卒業生などに対し、本学の様々な活動を発信すると同時に寄付募集を行います。一部の生徒のみが利益を享受する類の教育活動については「受益者負担」を明確にし、別途費用の徴収を行うなど、経常費と区別して取り扱います。 教職員は、より一層コスト意識を持ち、働き方改革のもと業務効率化と組織再編により人件費の削減に努めます。また、現法人の指導の下、施設設備の改修から物品購入まで、原則相見積を必須とし徹底した経費削減を行います。 上記の内容を徹底した上で、財政の中長期的な収支均衡において「学費改定」が必要不可欠となった場合は、検討いたします。</p>																																							
<p>(4) 教育内容、施設整備の改善・拡充等の状況</p>	<p>教育内容としては、「WWL(ワールド・ワイド・ラーニング)コンソーシアム構築支援事業」カリキュラム開発拠点校として、個別最適化教育の実現とグローバル人材育成・STEAM教育推進を目指しています。具体的には、学外アドバイザーからの情報提供や助言のもと、特別講義・公開研究授業大会の実施、学外コンペティションへの参加を積極的に行っています。また、産学・地域連携のもと「授業での学びを産業に活かす」様々な取り組みを始めています。 施設整備においては、北グラウンドの人工芝化工事が令和6年度に完成し、また校舎を南北に貫くキャンパスストリートの安全性を高める暗渠改修工事が令和7年度に終了予定です。今後は、南グラウンドの人工芝化工事を行うと同時に、各体育館の床・天井の修繕を行います。令和8年度までに、校舎内照明のLED化を段階的に進めます。また竣工して20年近く経過した校舎(光楠館)の空調設備の更新についても、整備を予定しています。</p>																																							
<p>(5) 令和7年度の保護者負担軽減策及び考え方</p>	<p>平成25年度入学生より、納付金が府私学納付金の平均額65万円を超えたため、納付金の負担が発生しています。そのため、本校独自の奨学金生徒として、入学希望者で条件を満たした場合には3年間奨学金(授業料の全額、半額、1/4額)を支給しています。また、経済上の理由により就学が困難になった生徒に対し授業料減免制度があります。 また、高等学校等就学支援金(国の就学支援金)や京都府あんしん修学支援、奨学のための給付金等の情報を、保護者全員に丁寧に周知する工夫を行っています。</p>																																							
<p>(6) 今後5年程度の保護者負担軽減計画</p>	<p>引き続き、財務体質の強化、経営環境の改善を図ります。個別相談や説明会等の生徒募集活動を通して「学生・保護者は今何を求めているか」を常に把握し、充実した学校生活と満足感のかる進路実現を保障する教育活動を行います。 また、各種修学支援事業の円滑な遂行と、本校独自の奨学金制度の運用により、生徒保護者にとって納得感のある学費負担であるよう尽力します。</p>																																							